


高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの概要

平成27年10月

高知市 

高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの概要

1. 人口ビジョンの位置付け・対象期間

- めざすべき将来の方向と人口の将来展望等について示し、**地域住民と人口に関する認識を共有。**
- 「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要な基礎資料として位置付け。
- 高知市総合計画をはじめ、今後、策定又は改訂する各種行政計画等の**人口の将来展望に関する共通の基礎資料として活用。**

●国や県のビジョンと同じ**2060年までの45年間を対象期間として設定。**

2. 高知市の地域特性、課題

<産業・雇用>

○第三次産業に特化した産業構造

市内総生産額は約1兆290億円(平成24年度)で、県全体の約48%
うち、第三次産業 約9,283億円(市全体の約90%)

<生産額の多い業種> サービス業:約3,050億円 卸売・小売業:約1,455億円 不動産業:約1,155億円

○事業所、従業者ともに減少傾向 (2009年→2012年)

事業所数: ▲1,283事業所(▲7.1%) 全国平均(▲6.9%)

従業者数: ▲7,027人(▲4.7%) 全国平均(▲4.5%)

<減少した主な業種> 卸売・小売業(▲512事業所・▲4,462人)

宿泊・飲食サービス業(▲252事業所・▲354人) 建設業(▲144事業所・▲883人)

<増加した主な業種> 医療・福祉(34事業所・1,260人)

○有効求人倍率は回復基調でも全国平均を下回る水準

* 有効求人倍率(平成27年6月・原数値)

高知市及びその周辺: 1.03 高知県: 0.86 全国: 1.10

<求人数の多い職種> 専門的・技術的職業、販売の職業、サービスの職業、福祉関連

<求職者数の多い職種> 事務的職業、運搬・清掃等の職業

○第一次産業の就業者の高齢化・担い手不足

農業、漁業は高齢化が進む一方、林業は若い就業者が増加

・農業: 就業人口の50.5%が65歳以上(2010年) 2000年→2010年で約25%減

・林業: 就業人口の25%が29歳以下(平成24年度末) 20年度末→24年度末で約33%増

・漁業: 就業人口の57.7%が60歳以上(2008年) 1988年→2008年で約82%減

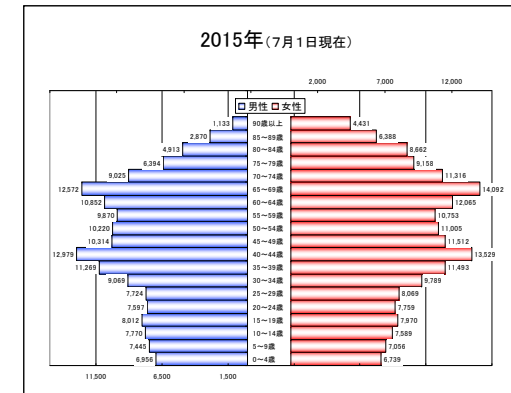
○高知市への観光入込客数は年間300万人程度で推移

高知県を訪れる外国人観光客は全国第46位(平成25年)

3. 人口の現状分析

○高知市の人口は**336,359人**
高知県全体732,146人の45.9%

- 男性: 156,984人
- 女性: 179,375人
- 年少人口(14歳以下): 43,555人(13%)
- 生産年齢人口(15~64歳): 201,850人(60%)
- 老年人口(65歳以上): 90,954人(27%)



※住民基本台帳人口 平成27年7月1日現在

○2005(平成17)年以降、**死亡数が出生数を上回る人口の自然減の状態が継続**(2013年 ▲758人)

・有配偶出生率は全国平均より高い(2010年 +0.1~12.4%)

有配偶率は全国平均より低い

(2010年 男性 高知市:58.8%(全国比▲2.3%) 女性:49.4%(全国比▲7.5%))

⇒合計特殊出生率は全国平均とほぼ同水準(2013年 高知市1.46 全国1.43)

・男性の死亡率が全国平均と比べ高い水準(平成22年 高知県 全国7位)

○県内からは転入超過(2013年 629人)、県外へは転出超過(2013年 ▲1,077人)

・県外への転出超過数は女性が多い(2013年 女性▲625人)

・特に20~24歳の県外への転出超過数が最も多い(2013年 ▲588人)

・大学、高専生は県外就職率が高く、短大、専門学校生は県内就職率が高い

・県外からの移住者数は年々増加傾向(平成26年度 112組181人)

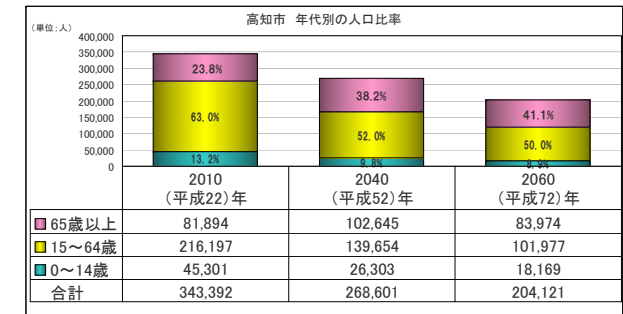
人口の将来推計

国立社会保障・人口問題研究所の推計

25年後の2040年に約269,000人

45年後の2060年に約204,000人

※高齢者の増加は止まるが
高齢化率は更に上昇



高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの概要

4. 人口減少の克服に取り組む基本的視点

(1) 県外から人を呼び込むとともに人口流出に歯止めをかける

県外からの移住者の受入とともに、市民の県外への流出に歯止めをかけ、市内に残る若者を増やしていくことが必要。

(2) 若い世代の結婚の希望を実現する

結婚や子育てを望む若者の希望を実現していくことで、出生数の増加につながる取組を進めることが重要。

(3) 理想とする子どもの数の希望を実現する

現実的に持ちたいと考えている子どもの数を理想とする子どもの数に近づけることが求められる。

(4) あらゆる世代が健康でいきいきと暮らせる社会の実現

健康づくりや高齢者の生きがいづくり等により、あらゆる世代がいきいきと長生きできる社会を実現していくことが必要。

(5) 周辺市町村との連携を進め圏域単位で取組を進める

一定の圏域を単位として捉え、周辺市町村と連携を強化し、人口減少対策を進めていくことが必要。

(6) 早期かつ長期的な取組の推進

可能な限り早期に着手するとともに長期間にわたる息の長い取組を継続していくことが重要。

●人口減少の克服に取り組む基本的視点を踏まえ総合戦略の基本目標を設定

【基本目標 1】

地産外商、観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出

【基本目標 2】

新しい人の流れをつくる

【基本目標 3】

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する、女性の活躍の場を拡大する

【基本目標 4】

バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る

5. 人口の将来展望

以下の条件のもとで、高知市がめざすべき人口目標を設定

○自然減の抑制

【①合計特殊出生率を上昇】2013年：1.46 → 2019年：1.6 → 2035年：2.07

；女性の年代ごとの有配偶率（平均49.4%）を四国トップの有配偶率の香川県と同水準まで上昇（約6.5～9.8%上昇）

現実に持ちたい子どもの数（1.99人）を理想の子どもの数（2.47人）まで上昇

【②死亡率の改善】

；2035年に男性の死亡率が2010年時点の全国平均まで改善（10万人あたりの死亡率575.6 → 544.3）

女性の死亡率が2035年までに男性の死亡率改善率の50%改善

○社会減の抑制

【③転出超過の抑制と移住の促進】

；15～24歳の県外への転出超過数（H25年762人）が段階的に抑制され、2030年時点で転出超過ゼロ
移住人口が段階的に増加し以後、一定 2015年130組（約222人）⇒2019年200組（約340人）

2060年の高知市の目標人口 280,000人

	影響値
国立社会保障人口問題研究所推計値	204,121人
①合計特殊出生率の上昇	44,804人増加
②死亡率の改善	6,622人増加
③転出超過の抑制と移住の促進	24,036人増加
合計	75,462人増加
2060年時点の推計人口	約280,000人

